

祝 辞



広報誌で共通課題に対応

社 沖縄県電気管工事業協会
会 長 山 里 景 淳

この度、沖縄県設備設計事務所協会が広報誌『建築設備』を創刊されますことを、心からお祝い申し上げます。

地域社会が求める住環境は、高度情報化や高齢化社会等を反映して、極めて多様化、複雑化してきており快適な居住空間へのニーズが一層高まっております。

建築物における『建築設備』の役割は照明設備を中心に、空気調和設備、給排水設備等室内環境の快適性、情報化社会への対応等快適な生活に不可欠なものであります。しかしながら一般的にその重要性は認識されていないのが現状ではないかと思えます。

今回、その重要性について広報誌を通じ、一般社会への浸透を図るとする貴協会の活動は誠に時宜に適ったものであり、平良会長を始め会員各位のご努力に対し、敬意を表するものであります。

私ども設備工事業界においても、空調・衛生・電気の3つの建築設備工事の高度化に対応し、責任ある施工とアフターケアサービスの徹底、トータルコストの低廉化を主眼に『分離発注』を関係機関に要請しております。公共工事についてはご理解を頂き実施をみておりますが、民間工事については遺憾ながら実現に至っておりません。

貴協会と当協会は設計と施工といった非常に密接な関わりを持っており、共通した課題に対処していくことが必要ではないかと思えます。そのためには双方の意思疎通を図ることが最も肝要であります。幸いにして広報誌の発刊は、その役割を果たしてくれるのではないかと期待する次第であります。

今日の社会環境の整備、都市機能の高度化等建築設備の重要性の一層の高まりによって貴協会の果たす役割は益々増大するものと思慮されます。この役割の一助になるのが広報誌『建築設備』であると確信いたしております。

おわりに、沖縄県設備設計事務所協会の益々のご発展並びに会員各位のご繁栄を心から祈念申し上げお祝いのことばといたします。

